



Come on



徳島文理大学人間生活学部 児童学科だより No.008 令和2年6月



## 新入生オリエンテーション (6月15日)

4月20日から約2か月間、遠隔配信授業となっていました。待ちに待った対面授業が6月16日から開始されます。前日の15日には、新入生は、ようやく、会うことができた仲間とにこやかな表情でオリエンテーションを行っていました。待機中に得た貴重な体験や知識を胸に、大学生活を再スタートします。早速、一人の学生に、学年担任が全体の計画を、それぞれのチューターが個別に面談を行い、新入生を温かく迎える準備ができています。大学生活に一日でも早く慣れてほしいと願っています。



## ～～ 現役合格者「現場からのメッセージ」 ～～

小西美花 (徳島商業高校出身)

私は、現在、阿波市の認定こども園で保育教諭として働いています。15人の4歳児の担任を務めています。毎日、大変なことはたくさんありますが、「子どもたちの無邪気さや可愛さ」のおかげで頑張ることができています！また職場の先生方もとても優しい方ばかりで、充実した毎日を送っています。

徳島文理大学児童学科は、先生方のご指導がとても熱心で、何かあれば親身になって話を聞いてくださいます。また、同じ夢に向かって頑張る仲間がたくさんいるので、実習や試験を乗り越えることができて充実した大学4年間を送ることが出来ました。現場でも、大学で学んだ専門知識や体験が大いに生かされています。徳島文理大学児童学科で学ぶことができて良かったと心から思います。

オープンキャンパスに来られた高校生の皆さん、是非、徳島文理大学児童学科にお越しください。たくさんの皆さんが来てくださるのを楽しみに待っています！

そして、後輩のみなさん、実習や試験など辛いことがこれからもあるかもしれませんが、最後まで諦めず頑張ってください！そして夢を実現してください！



重友里央樹 (阿波高校出身)

今年の3月、徳島文理大学を卒業し、徳島市内の小学校で教員をしています。毎日、忙しい日々を送っています。しかし、そんな中でも子どもたちの笑顔や勉強を楽しむ姿を見ると、忙しさも忘れさせてくれます。

徳島文理大学の児童学科では、ただ、授業から学ぶだけでなく、ゼミや児童研究など、学ぶ機会がたくさんあります。児童学科はとても縦のつながりが強いです。困ったときは頼りになる先生方や先輩、時にはフレッシュな後輩から学ぶこともありました。1人で学ぶのではなく、困った時や楽しい時ともに学ぶ仲間たちがいます。そういった面で本当に徳島文理大学に来て良かったと思っています。

今、みなさんは、社会に出る前で様々な不安が押し寄せていると思います。社会はみんなが思っているほど、苦しいことばかりじゃありません。徳島文理大学児童学科で、これからも自分がめざしている仕事の魅力などを思い出しながら頑張ってください。みなさんとともに徳島県の教員として働けることを楽しみにしています。

